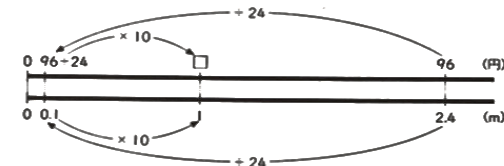
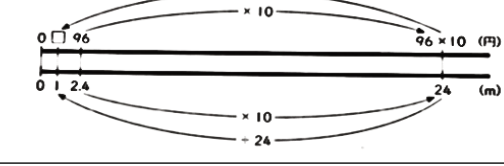


5. 本時の目標：

整数÷帯小数の計算のしかたについて数直線図を用いて考える活動を通して、除数が整数である場合の計算の考え方を基にして、既習の計算のしかたに帰着させて考えることができる。

6. 本時の展開（2/14）

学 習 活 動	指導・援助, 評価
1 課題をつかむ リボン 2.4mの代金は 96 円です。 このリボン 1mのねだんはいくらでしょう。 <問題 1 > 96÷2.4 の計算のしかたを考えましょう。 ・ 前時の数直線図から答えの予想をし、見通しをもつ。 2 一人学びで自分の考えをもつ 課題：小数でわる計算のしかたを説明しよう。 ○既習事項の考え方を基に、本時考えていくことを確認する。 ・ 数直線図① 0.1mの代金から、1mの値段を求める。  はじめに 0.1m分の値段を求める。96÷24=4。次に 1 m分の値段は 10 倍なので、4×10=40。だから答えは 40 円。 ・ 数直線図② 24mの代金から、1mの値段を求める。  はじめに 24m分の値段を求める。96×10=960。次に 1 m分の値段を求めるには 960÷24=40。だから答えは 40 円。 3 仲間学びで考えを確かめ、検討する ・ 小数のかけ算のときと同じようにして、考えることができた。 ・ 整数の式に直しているところが、小数のかけ算と似ている。 ・ どちらの考えでも、整数同士のわり算で答えを求めている。 T：わり算のきまりを使えば、わる数が小数でも計算することができそうですね。 96÷2.4=40 ↓ ↓ 960÷24=40 4 もう一問に取り組み、まとめにつなげる <問題 2 > リボン 1.2mの代金は 60 円です。 このリボン 1mのねだんはいくらでしょう。 ○ペアでお互いの考えを確かめる。 ・ 式は 60÷1.2。 わる数を整数にするために、わる数もわられる数も 10 倍する。 だから、600÷12=50 となる 答えは 50 円。 ○交流が終わった児童から、本時のポイントをまとめる。 <まとめ> 小数でわる計算は、わられる数とわる数を 10 倍にして、整数とみて計算すればよい。 6 本時の学習を振り返る	【研究内容 1】 ◎数学的な思考力を高めるために ・ 今までに学習したことを使えないかを問いか け、数直線図を使った考え方について確認し、 課題化する。 ・ 課題提示後に、「小数のかけ算のときには、何 をもとにした考え方がありましたか。」と問い かけ、前単元での考え方を使えば、答えを求め られそうだという見通しをもたせる。 ・ 既習事項（小数のかけ算）を用いて考えられる ように、レディネステストのときにまとめたプ リントを用いて既習内容を振り返ることがで きるようにする。 【研究内容 2】 ◎定着状況を見届け、確かな力を身に付けるために ・ 問題 1 で明らかになった「数理的な処理のよさ」 を広げたり、深めたり、たしかにしたりするた めに問題 2 を設定する。 ・ ペア交流では、数学的な見方・考え方の視点を 与えて交流をする。 <ペア交流の視点> ・ なぜ 10 倍して答えを求めるのかを説明できて いるか。 【評価規準】（数学的な考え方） 除数が帯小数の除法の計算のしかたを、小数 のしくみや計算のきまりなどをもとに既習の整 数でわる計算に帰着させて考えている。

3 仲間学びで考えを確かめ、検討する

・ 小数のかけ算のときと同じようにして、考えることができた。

・ 整数の式に直しているところが、小数のかけ算と似ている。

・ どちらの考えでも、整数同士のわり算で答えを求めている。

T: わり算のきまりを使えば、わる数が小数でも計算することができそうですね。

96÷2.4=40

↓ ↓

960÷24=40

4 もう一問に取り組み、まとめにつなげる

<問題 2 >
リボン 1.2mの代金は 60 円です。
このリボン 1mのねだんはいくらでしょう。

○ペアでお互いの考えを確かめる。

・ 式は 60÷1.2。

わる数を整数にするために、わる数もわられる数も 10 倍する。
だから、600÷12=50 となる
答えは 50 円。

○交流が終わった児童から、本時のポイントをまとめる。

<まとめ>
小数でわる計算は、わられる数とわる数を 10 倍にして、整数とみて計算すればよい。

6 本時の学習を振り返る